決 算 書

令和元年度

自 平成31年 4月 1日

至 令和2年 3月31日

社会福祉法人 マリアの園福祉会

財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書

令和2年 6 月27日

社会福祉法人 マリアの園福祉会 理事長 山内 隆寛 殿

支援業務実施者 公認会計士 シエ ヒ 英 介 ので

貴法人より委嘱を受け、平成31年4月1日から令和2年3月31日に社会福祉法人マリアの園福祉会において実施した、財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務は下記のとおりです。

記

支援項目及びその事項についての所見の詳細については別紙を参照ください。

本業務は、貴法人における「財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援」を行うもので、所見への記載事項は、業務実施の過程で発見されたものであり、当該記載事項 が貴法人における全ての問題点を網羅していることを保証するものではありません。また、当該業務の結果として、貴法人の業務運営の適正性、計算書類の適正性を保証するものではありません。

この報告書は、所轄庁への報告及び貴法人の内部での利用を前提に作成しておりますので、上記以外に利用される場合には、事前に支援業務実施者の了解を得ていただくことが必要です。

以 上

財務会計に関する事務処理体制に係る支援項目リスト

※ 業務の実施にあたっては、「社会福祉法人指導監査実施要綱の制定について」の別添「社会福祉法人指導監査実施要綱」の別紙「指導監査ガイドライン」の「III管理3会計管理」についても留意すること。

No.	勘定科目	確認事項	残高			
140.	・項目等	ME BIU 쿠 グ	等	チ	ェック	
1	予算	収支予算は、毎会計年度開始前に理事長が作成し、定款の定めに従い適切な承認を受けているか。		YES	NO	所見
•	了异	予算執行中に、予算に変更事由が生じた場合、理事長は補正予算を作成し、定 款の定めに従い適切な承認を受けているか。		YES	NO	所見
		経理規程が制定されているか。		YES)	NO	所見
		統括会計責任者や会計責任者が置かれ、それらの者とは別の現金管理責任者 (出納職員)が置かれているか。		YES	NO	所見
2	経理体制	定款、法人が行っている事業の実態、法令等の事業種別等に基づき事業区分、 拠点区分、サービス区分は適切に設定されているか。		YES	NO	所見
	1	勘定科目は、「社会福祉法人会計基準の制定に伴う会計処理等に関する運用上 の留意事項について」 別添3に準拠しているか。		YES	NO	所見
		正規の簿記の原則に従って適時に正確な会計帳簿を作成しているか。		YES	NO	所見
		計算書類に係る各勘定科目の金額は、主要簿(総勘定元帳等)と一致しているか。		YES	NO	所見
3	会計帳簿	基本財産(有形固定資産)及びその他の固定資産(有形固定資産、無形固定資産)の金額は、固定資産管理台帳と一致しているか。		YES	NO	所見
		計算書類に係る各勘定科目の金額は、補助簿(現金出納帳、棚卸資産受払台帳、 有価証券台帳等)と一致しているか。		YES	NO	所見
		経理規程に定められた会計帳簿(仕訳日記帳、総勘定元帳、補助簿及びその他の帳簿)は拠点区分ごとに作成され、備え置かれているか。		YES	NO	所見
		法人が作成している計算書類は、経理規程と一致しているか。		YES	NO	所見
		決算手続に際して各種機関の監査・承認及び日程等は法令及び定款の定めに従 い適正に行われているか。		YES	NO	所見
		計算書類が様式に従って作成されているか。		YES	NO	所見
		貸借対照表上、基本財産として表示されているものは定款の定めと対応しているか。		YES	NO	所見
		貸借対照表上、未収金、前払金、未払金、前受金等の経常的な取引によって発生した債権債務は、流動資産又は流動負債に表示されているか。		YES	NO	所見
4	計算書類等	貸借対照表上、貸付金、借入金等の経常的な取引以外の取引によって発生した 債権債務については、貸借対照表日の翌日から起算して1年以内に入金又は支 払の期限が到来するものは流動資産又は流動負債に、入金又は支払の期限が1 年を超えて到来するものは固定資産又は固定負債に表示されているか。		YES	NO	所見
		法人が作成している附属明細書は、経理規程と一致しているか。		YES	NO	所見
		法人全体及び拠点区分ごとに作成すべき附属明細書が全て作成されているか。		YES	NO	所見
	-	附属明細書が様式に従って作成されているか。		YES	NO	所見
		附属明細書の勘定科目と金額は、計算書類と整合性がとれているか。		YES	NO	所見
		財産目録が記載すべき事項及び様式に従って作成されているか。		YES	NO	所見
		財産目録の勘定科目と金額は、法人単位貸借対照表と整合性がとれているか。		YES	NO	所見

No.	勘定科目 ・項目等	確認事項	残高等	チェック	7
5	資産、負債の 基本的な	資産は、原則として、取得価額(受贈又は交換によって取得した資産について は、その取得時における公正な評価額)で計上されているか。		YES NO	所見
	会計処理	負債のうち、債務は、原則として、債務額で計上されているか。		YES NO	所見
6	収益、費用の 基本的な 会計処理	収益は、原則として、物品の販売又はサービスの提供等を行い、かつ、 これに対する現金及び預金、未収金等を取得した時に計上され、費用は、原則として、費用の発生原因となる取引が発生した時又はサービスの提供を受けた時に計上されているか。(発生主義)		YES NO	所見
	Aller	収益とこれに関連する費用は、両者を対応させて期間損益が計算されている か。		YES NO	所見
7	内部取引	内部取引は相殺消去されているか。	無	有 YES NO	所見
8	預貯金 ・積立資産	残高証明書等により残高が確認されているか。	無	有 YES NO	所見
9	徴収不能額	法的に消滅した債権又は徴収不能な債権がある場合、これらについて徴収不能額が計上されているか。	(#)	有 YES NO	所見
		満期保有目的の債券以外の有価証券で、市場価格のあるものは、時価で計上されているか。	(#)	有 YES NO	所見
10	有価証券	満期保有目的の債券を債券金額より低い価額又は高い価額で取得した場合において、取得価額と債券金額の差額の性格が金利の調整と認められるときは、償却原価法に基づいて算定されているか。(なお、取得価額と債権金額との差額について重要性が乏しい満期保有目的の債券については、償却原価法を適用しないことができる。)	(#)	有 YES NO	所見
ST0		有価証券について、会計年度の末日における時価がその時の取得価額より著しく低い場合、当該有価証券の時価がその時の取得原価まで回復すると認められる場合を除き、時価が付されているか。	(#)	有 YES NO	所見
		上記以外の有価証券は取得価額で計上されているか。	(#)	有 YES NO	所見
11	棚卸資産	棚卸資産について、会計年度の末日における時価がその時の取得原価よりも下 落した場合、時価が付されているか。	(#)	有 YES NO	所見
12	経過勘定	経過勘定がある場合、前払費用及び前受収益は、当期の損益計算に含まれず、 また、未払費用及び未収収益は、当期の損益計算に反映されているか。	無	有 (YES) NO	所見
		有形固定資産は、定額法又は定率法のいずれかの方法に従い、無形固定資産は、 定額法により、相当の減価償却が行われているか。	無	有 YES NO	所見
		固定資産について、会計年度の末日における時価がその時の取得原価より著し く低い資産の有無を把握しているか。	(#)	有 YES NO	所見
13	固定資産	固定資産について、会計年度の末日における時価がその時の取得原価より著しく低い資産がある場合、当該資産の時価がその時の取得原価まで回復すると認められる場合を除き、時価が付されているか。 ※ただし、使用価値を算定することができる有形固定資産又は無形固定資産であって、当該資産の使用価値が時価を超えるものについては、取得価額から減価償却累計額を控除した価額を超えない限りにおいて、使用価値を付することができる点に留意する。	(#)	有 YES NO	所見

No.	勘定科目	確認事項	残高		
	・項目等		等	チェッ	ク
	借入金	借入目的に応じた適切な勘定科目に計上されているか。	(#)	有 YES NO	所見
14	債権債務の	借入金 (理事長に委任されていない多額の借財に限る) は、理事会の議決を経 て行われているか。また、借入金は、事業運営上の必要によりなされたもので あるか。		YES NO	所見
	状況	借入金の償還財源に寄附金が予定されている場合は、法人と寄附予定者との間で書面による贈与契約が締結されており、その寄附が遅滞なく履行されているか。		YES NO	所見
15	リース取引	リース取引 (契約上賃貸借となっているものも含む) に係る借手である場合、ファイナンス・リース取引は、通常の売買契約に係る方法に準じて会計処理が行われているか。(なお、ファイナンス・リース取引について、取得したリース・物件の価額に重要性が乏しい場合、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理することができる。)	(#)	有 YES NO	所見
		リース取引 (契約上賃貸借となっているものも含む) に係る借手である場合、オペレーティング・リース取引は、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理が行われているか。	無	有 YES NO	所見
		賞与引当金や退職給付引当金、その他将来の特定の費用又は損失で、発生が当期以前の事象に起因し、発生の可能性が高く、かつ、その金額を合理的に見積ることができる取引がある場合に、引当金として計上されているか。	無	有 YES NO	所見
16	引当金	徴収不能のおそれのある債権がある場合、その徴収不能見込額が徴収不能引当 金として計上されているか。	(#)	有 YES NO	所見
		独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度 が利用されている場合、毎期の掛金が費用処理されているか。	(#)	有 YES NO	所見
17	基本金	基本金は社会福祉法人が事業開始等に当たって財源として受け入れた寄附金 の額を寄附の種類に応じて計上されているか。	無	有 YES NO	所見
		社会福祉法人が施設及び設備の整備のために国、地方公共団体等から補助金、 助成金、交付金等を受領した場合、国庫補助金等特別積立金として積立てを行 っているか。	無	有 YES NO	所見
10	国庫補助金等	国庫補助金等特別積立金について、対象資産の減価償却費のその取得原価に対 する割合に相当する額を取り崩しているか。	無	有 YES NO	所見
18	特別積立金	上記取崩し額は、サービス活動費用の控除項目として、国庫補助金等特別積立金取崩額が計上されているか。 また、国庫補助金等特別積立金を含む固定資産の売却損・処分損が計上される場合は、特別費用に控除項目として、当該資産に係る国庫補助金等特別積立金取崩額が計上されているか。	無	有 YES NO	所見
		その他の積立金は、理事会の決議を経た上で、積立ての目的を示す名称を付し、 同額の積立資産が積み立てられているか。	無	有 YES NO	所見
10	その他の	その他の積立金の積立は、当期末繰越活動増減差額にその他の積立金取崩額を 加算した額に余剰が生じた場合に行われているか。	# _		所見
19	積立金	その他の積立金に対応する積立資産を取り崩す場合には、当該その他の積立金 を同額取崩しているか。	(#)	有 YES NO	所見
		就労支援事業に関する積立金を計上している場合、各積立金の計上金額は、会 計基準省令所定の要件を満たしているか。	(#)	有 YES NO	所見

No.	勘定科目 ・項目等	確認事項	残高 等	チェ	ック
20	補助金	補助の目的に応じて帰属する拠点区分を決定し、適切な勘定科目に計上されているか。	無	有 YES N	〇 所見
	寄附金	金銭の寄附は、寄附目的により拠点区分を決定し、適切な勘定科目に計上され ているか。	無	有 YES N	O 所見
		経常経費に対する寄附物品は、取得時の時価により、経常経費寄附金収入及び 経常経費寄附金収益に計上されているか。	(#)	有 YES N	O 所見
21		土地などの支払資金の増減に影響しない寄附物品は、取得時の時価により、事業活動計算書の固定資産受贈額として計上され、資金収支計算書には計上されていないか。	(#)	有 YES N	O所見
		共同募金からの配分金は、その配分金の内容に基づき適切な勘定科目に計上され、このうち基本金又は国庫補助金等特別積立金に組み入れるべきものは適切 に組入れされているか。	(#)	有 YES N	O 所見
		寄附金申込書、寄附金領収書(控)、寄附金台帳の記録は全て対応しているか。	無	有 YES N	O 所見
22	共通支出(費 用)の配分	共通支出(費用)の配分は、合理的な基準に基づき適切に行われているか。	#	有 YES N	O 所見
		資金収支計算書の当期末支払資金残高と貸借対照表の支払資金残高(流動資産 と流動負債の差額。ただし、1年基準により固定資産又は固定負債から振り替 えられた流動資産・流動負債、引当金及び棚卸資産(貯蔵品を除く。)を除く。) は一致しているか。		YES N	O所見
23	整合性	事業活動計算書の次期繰越活動増減差額と貸借対照表の次期繰越活動増減差額は一致しているか。また、(うち当期活動増減差額)が、事業活動計算書の 当期活動増減差額と一致しているか。		YES	O所見
		貸借対照表の純資産の部と財産目録の差引純資産は一致しているか。		YES N	O 所見
24	注記	該当する事項がない場合、項目名の記載が省略できる注記事項と項目名の記載 が省略できない注記事項が区分され、省略できない事項において該当する事項 がない場合には、「該当なし」と記載されているか。		YES N	O 所見 _.
		注記に係る勘定科目と金額が計算書類と整合性がとれているか。		YES N	O 所見
25		計基準で示していない会計処理の方法が行われている場合、その処理の方法は、 応じて、一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の慣行を斟酌している	無	有 YES N	O 所見

- ① 「残高等」の欄については、該当する勘定項目等の残高がない場合又は「確認事項」に該当する事実がない場合は、「無」を○で囲みます。「確認事項」に該当する場合において、社会福祉法人会計基準に従って処理しているときは、「チェック」欄の「YES」を、社会福祉法人会計基準に従って処理していないときは、「チェック」欄の「NO」を○で囲みます。「所見」欄に関連する記載を行う場合には、「チェック」欄の「所見」を○で囲みます。
- ② 「NO」の場合は、「所見」欄にその理由等を記載します。また、「YES」であっても、改善すべき点があれば記載 します。

社会福祉法人マリアの園福祉会の財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援として、原則として て月一度、法人事務所を訪問し、月次試算表等のレビューを実施した。

レビュー手続きでは、金額的、質的に重要な取引について、請求書、領収書、見積書、契約書等の書類 と帳簿記録が一致しているかどうかの確認を行った。レビュー手続きを実施した範囲において、記帳は適時に行われており、取引伝票は原始資料に基づいて作成されていることを確認している。また、証票書類 は適切に整理保存され、評議員会及び理事会議事録も適切に作成されていた。

決算整理事項としては、賞与引当金の額は、月割り計算により当期の負担に属する額が計上されている 事を確認している。また預金については、残高証明書により期末残高を確定している。

内部統制組織としては、出納担当者の処理を園長が査閲する仕組みが構築されている。

以上

所 見

法人単位資金収支計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第一号第一様式 (第十七条第四項関係)

__ 法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

		勘 定 科 目	予 算 (A)	決 算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
		保育事業収入	110, 520, 000	115, 765, 388	△5, 245, 388	
		経常経費寄附金収入	10,000		10, 000	
事	収入	受取利息配当金収入	15, 000	8, 517	6, 483	
業		その他の収入	1, 090, 000	1, 271, 269	△181, 269	
古動		事業活動収入計(1)	111, 635, 000	117, 045, 174	△5, 410, 174	
に		人件費支出	82, 800, 000	79, 691, 377	3, 108, 623	
よる		事業費支出	13, 470, 000	9, 225, 649	4, 244, 351	
事業活動による収支	支出	事務費支出	13, 755, 000	8, 466, 401	5, 288, 599	
		その他の支出	1, 010, 000	1, 111, 790	△101, 790	
		事業活動支出計(2)	111, 035, 000	98, 495, 217	12, 539, 783	
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	600, 000	18, 549, 957	△17, 949, 957	
施設	収 入					
施設整備等による収支		施設整備等収入計(4)	0	0	0	
等に	支出	固定資産取得支出	500, 000	180, 468	319, 532	
よる。	出	施設整備等支出計(5)	500, 000	180, 468	319, 532	
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△500, 000	△180, 468	△319, 532	
その	収					
他の任	入	その他の活動収入計(7)	0	0	,	
動に	支			18, 000, 000	△18, 000, 000	
その他の活動による収支	出	その他の活動支出計(8)	0	18, 000, 000	△18, 000, 000	
収 支		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	△18, 000, 000	18, 000, 000	
	予值	肯費支出(10)				
	当其	明資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	100, 000	369, 489	△269, 489	
		明末支払資金残高(12)	20, 741, 066	20, 327, 724	413, 342	
	当其	明末支払資金残高(11)+(12)	20, 841, 066	20, 697, 213	143, 853	

[※]本様式は、勘定科目の大区分のみを記載するが、必要のないものは省略することができる。ただし追加・修正はできないものとする。

社会福祉事業区分 資金収支内訳表

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第一号第三様式 (第十七条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

	勘定科目		船越保育所	本部	合計	内部取引消去	事業区分合計	
		保育事業収入	115, 765, 388		115, 765, 388		115, 765, 388	
	収	受取利息配当金収入	7, 516	1,001	8, 517		8, 517	
事業活動	入	その他の収入	1, 271, 269		1, 271, 269		1, 271, 269	
活		事業活動収入計(1)	117, 044, 173	1, 001	117, 045, 174	0	117, 045, 174	
動に		人件費支出	79, 518, 738	172, 639	79, 691, 377		79, 691, 377	
によ		事業費支出	9, 139, 649	86, 000	9, 225, 649		9, 225, 649	
る	支出	事務費支出	8, 435, 211	31, 190	8, 466, 401		8, 466, 401	
よる収支	ш	その他の支出	1, 111, 790		1, 111, 790		1, 111, 790	
^		事業活動支出計(2)	98, 205, 388	289, 829	98, 495, 217	0	98, 495, 217	
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	18, 838, 785	△288, 828	18, 549, 957	0	18, 549, 957	
施	収							
施設整備等による収支	入	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	
等に	支	固定資産取得支出	180, 468		180, 468		180, 468	
よるに	田,	施設整備等支出計(5)	180, 468	0	180, 468	0	180, 468	
支		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△180, 468	0	△180, 468	0	△180, 468	
その	収	拠点区分間繰入金収入		283, 639	283, 639	△283, 639		
他の	入	その他の活動収入計(7)	0	283, 639	283, 639	△283, 639	0	
その他の活動による収支		積立資産支出	18, 000, 000		18, 000, 000		18, 000, 000	
期に	支出	拠点区分間繰入金支出	283, 639		283, 639	△283, 639		
よる点	I	その他の活動支出計(8)	18, 283, 639	0	18, 283, 639	△283, 639	18, 000, 000	
支		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△18, 283, 639	283, 639	△18, 000, 000	0	△18, 000, 000	
	当期	資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	374, 678	△5, 189	369, 489	0	369, 489	
	计批	1字支払资全建享(11)	20, 302, 963	24, 761	20, 327, 724	0	20, 327, 724	
	前期末支払資金残高(11) 当期末支払資金残高(10)+(11)		20, 502, 903	19, 572	20, 527, 724	0	20, 327, 724	

[※]本様式は、勘定科目の大区分のみを記載するが、必要のないものは省略することができる。ただし追加・修正はできないものとする。

船越保育所拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第一号第四様式 (第十七条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

		勘定科目	予 算 (A)	決 算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
		保育事業収入	110, 520, 000	115, 765, 388	△5, 245, 388	
l		委託費収入	101, 200, 000	105, 171, 488	△3, 971, 488	
		委託費基本分収入	84, 000, 000	87, 731, 490	△3, 731, 490	
		処遇改善等加算 (基礎分)	9, 400, 000	9, 544, 028	△144, 028	
		処遇改善等加算(要件分)	4, 700, 000	4, 730, 780	△30, 780	
1		処遇改善加算Ⅱ	3, 100, 000	3, 165, 190	△65, 190	
事業活動による収支		利用者等利用料収入	1, 400, 000	1, 428, 000	△28, 000	
活		利用者等利用料収入(一般)	1, 400, 000	1, 428, 000	△28, 000	
動	収	その他の事業収入	7, 920, 000	9, 165, 900	$\triangle 1, 245, 900$	
じよ	入	補助金事業収入(公費)	7, 920, 000	9, 109, 800	△1, 189, 800	
る		補助金事業収入(一般)		56, 100	△56, 100	
数		受取利息配当金収入	10, 000	7, 516	2, 484	
^		受取利息配当金収入	10, 000	7, 516	2, 484	
		その他の収入	1, 060, 000	1, 271, 269	△211, 269	
		受入研修費収入	20, 000		20, 000	
		利用者等外給食費収入	1, 000, 000	1, 126, 750	△126, 750	
		雑収入	40, 000	144, 519	△104, 519	
		事業活動収入計(1)	111, 590, 000	117, 044, 173	△5, 454, 173	

船越保育所拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第一号第四様式 (第十七条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

大作音文川 株式 株式 株式 株式 株式 株式 株式 株	法	人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会			· ·	(単位:円)
機員給料支出		勘定科目	予 算(A)	決 算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
環合・ 東京		人件費支出	82, 650, 000	79, 518, 738	3, 131, 262	
職員者子も支出		職員給料支出	41, 610, 000	38, 469, 655	3, 140, 345	
本書語では		職員俸給支出	31, 950, 000	30, 594, 252	1, 355, 748	
#常等動戦員給与支出 19,240,000 18,944,041 295,959 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		職員諸手当支出	9, 660, 000	7, 875, 403	1, 784, 597	
連載給付支出		職員賞与支出	12, 000, 000	11, 813, 142	186, 858	
接近に福利費支出 9,000,000 9,579,900 △579,900 かき変換支出 13,470,000 9,139,649 4,330,351 46費支出 6,600,600 70,513 229,487 (保管有材料費支出 3,000,000 1,602,241 1,307,759 2,948,752 2,100,000 2,18,563 1,281,437 (保険料支出 250,000 173,825 76,175 (全体を支出 20,000 174,825 77) (本体を対立 20,000 180,468 181 463,819 181 463,8		非常勤職員給与支出	19, 240, 000	18, 944, 041	295, 959	
事業音が表している 事業音楽 13,470,000		退職給付支出	800,000	712,000	88,000	
		法定福利費支出	9,000,000	9, 579, 900	△579, 900	
		事業費支出	13, 470, 000	9, 139, 649	4, 330, 351	
操奏性の		給食費支出	6,000,000	4, 691, 514	1, 308, 486	
本業		保健衛生費支出	300, 000	70, 513	229, 487	
大きない		保育材料費支出	3, 000, 000	1, 602, 241	1, 397, 759	
事業活動による収支 事務では、大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大						
(保険料支出				218, 563		
情情料支出 300,000 276,063 23,937 減支出 20,000 10,666 9,934 準支出 13,660,000 13,909,907 △40,907 福利厚生費支出 1,350,000 1,390,907 △40,907 原費変更支出 1,000,000 536,181 463,819 306,000 234,882 65,118 367,885 582,315 19刷製本費支出 300,000 234,882 65,118 463,819 306,000 234,882 65,118 367,885 582,315 19刷製本費支出 300,000 428,557 1,531,443 361,542 66經費支出 1,960,000 428,557 1,531,443 361,542 449,236 236,885 248,557 1,531,443 361,542 449,236 236,853 248,557 248,558		保険料支出	250, 000			
事務費支出 13,660,000 8,435,211 5,224,789 相利厚生費支出 1,350,000 1,390,907 △40,907 □ ☆40,907		賃借料支出	300,000			
事務費支出	事			10,066		
中刷製本費支出	業	事務費支出	13, 660, 000	8, 435, 211	5, 224, 789	
中刷製本費支出	活 支	福利厚生費支出	1, 350, 000	1, 390, 907	△40, 907	
中刷製本費支出	いに 出					
中刷製本費支出	よ					
中刷製本費支出						
中刷製本費支出	支					
修繕費支出						
通信運搬費支出						
会議費支出 100,000 50,764 49,236 広報費支出 360,000 91,947 268,053 業務委託費支出 1,000,000 299,954 700,046 手数料支出 900,000 815,472 84,528 土地・建物賃借料支出 10,000 162,783 77,217 租税公課支出 10,000 218,020 781,980 採支出 500,000 317,519 182,481 その他の支出 1,010,000 1,111,790 △101,790 利用者等外給食費支出 1,000,000 1,111,790 △101,790 利用者等外給食費支出 1,000,000 1,111,790 △111,790 維支出 10,000 1,111,790 △111,790 維支出 10,000 1,111,790 △111,790 維支出 10,000 1,111,790 △111,790 種支出 10,000 1,111,790 △111,790 維支出 10,000 18,838,785 △18,038,785 本設出 12,584,612 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) 800,000 18,838,785 △18,038,785 本設整備等収入計(4) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0						
広報費支出						
業務委託費支出 1,000,000 299,954 700,046 手数料支出 900,000 815,472 84,528 土地・建物賃借料支出 10,000 162,783 77,217 租税公課支出 10,000 218,020 781,980 雑支出 500,000 317,519 182,481 その他の支出 1,010,000 1,111,790 △101,790 111,790 △111,790 △111,790 4						
施業 手数料支出 900,000 815,472 84,528 土地・建物賃借料支出 240,000 162,783 77,217 租税公課支出 10,000 10,000 保守料支出 1,000,000 218,020 781,980 施工事業活動支出計(2) 500,000 317,519 182,481 その他の支出 1,010,000 1,111,790 △101,790 利用者等外給食費支出 1,000,000 1,111,790 △111,790 施設整備等収入計(2) 110,790,000 98,205,388 12,584,612 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) 800,000 18,838,785 △18,038,785 以入 施設整備等収入計(4) 0 0 0 支出 器具及び備品取得支出 500,000 180,468 319,532 業具及び備品取得支出 500,000 180,468 319,532 施設整備等支出計(5) 500,000 180,468 319,532						
上地・建物賃借料支出 240,000 162,783 77,217 租税公課支出 10,000 10,000 10,000 保守料支出 1,000,000 218,020 781,980 推支出 500,000 317,519 182,481 その他の支出 利用者等外給食費支出 雑支出 1,010,000 1,111,790 △101,790 推支出 10,000 1,111,790 △111,790 撤支出 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) 800,000 18,838,785 △18,038,785 工事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) 800,000 18,838,785 △18,038,785 上支経機等取入計(4) 0 0 0 固定資産取得支出 500,000 180,468 319,532 上支援の場合 319,532 180,468 319,532 施設整備等支出計(5) 500,000 180,468 319,532					·	
租税公課支出						
保守料支出			·	102, 700		
# 技力				218, 020		
その他の支出 利用者等外給食費支出 報支出 1,010,000 1,000,000 1,111,790 10,000 1,111,790 111,790 10,000 △101,790 10,000 事業活動支出計(2) 110,790,000 10,000 98,205,388 12,584,612 12,584,612 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) 800,000 800,000 18,838,785 18,038,785 △18,038,785 施設整備等収入計(4) 0 0 0 支出 出 財政 財産 500,000 180,468 319,532 180,468 319,532 319,532 施設整備等支出計(5) 500,000 180,468 319,532 180,468 319,532						
利用者等外給食費支出						
施設整備等による収 収入 施設整備等収入計(4) 10,000 10,000 加支出 110,790,000 98,205,388 12,584,612 12,584,612 12,584,612 12,584,612 12,584,612 13,038,785 12,584,612 14,000 18,838,785 12,584,612 15,000 18,838,785 12,584,612 15,000 18,838,785 12,584,612 15,000 18,838,785 12,584,612 15,000 18,838,785 12,584,612 15,000 18,838,785 12,584,612 15,000 18,838,785 12,584,612 15,000 18,838,785 12,584,612 15,000 18,838,785 12,584,612 15,000 18,838,785 12,584,612 15,000 18,838,785 12,584,612 15,000 18,838,785 12,584,612 15,000 180,468 319,532 15,000 180,468 319,532 15,000 180,468 319,532 15,000 180,468 319,532 15,000 180,468 319,532 15,000 180,468 319,532 15,000 180,468 319,532 15,000 180,468 319,532 15						
事業活動支出計(2) 110,790,000 98,205,388 12,584,612 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) 800,000 18,838,785 △18,038,785 収入 施設整備等収入計(4) 0 0 0 財産業務 10,790,000 18,838,785 △18,038,785 財産業務 10,790,000 18,838,785 △18,038,785 財産業務 10,790,000 180,468 319,532 おおりののののののののののののののののののののののののののののののののののの				1, 111, 100	·	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) 800,000 18,838,785 △18,038,785 収入 の 0 0 丁 固定資産取得支出 500,000 180,468 319,532 器具及び備品取得支出 500,000 180,468 319,532 施設整備等支出計(5) 500,000 180,468 319,532 180,468 319,532 180,468 319,532				98, 205, 388		
施設整備等による収入 体設整備等収入計(4) 0 0 0 支出 固定資産取得支出 500,000 180,468 319,532 器具及び備品取得支出 500,000 180,468 319,532 施設整備等支出計(5) 500,000 180,468 319,532						
整 (年) 人 施設整備等収入計(4) 0 0 0 財産 固定資産取得支出 500,000 180,468 319,532 器具及び備品取得支出 500,000 180,468 319,532 施設整備等支出計(5) 500,000 180,468 319,532 180,468 319,532		4. Note that the Associate that (A) (T) (M)	200, 000	22, 000, 100		
古定資産取得支出 500,000 180,468 319,532 3	設 入	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
支 支 器具及び備品取得支出 500,000 180,468 319,532 施設整備等支出計(5) 500,000 180,468 319,532	備	固定資産取得支出			_	
施設整備等支出計(5) 500,000 180,468 319,532	章 支	器具及び備品取得支出	·			
W MENALEMIN (2) 000, 000 100, 100 010, 000	[出	施設整備等文出計(5)				
支 施設整備等資金収支差額(6)=(4)−(5)	支		•		·	

船越保育所拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第一号第四様式 (第十七条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

		勘定科目	予 算 (A)	決 算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
そ	収					
の	入	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
他の		積立資産支出		18, 000, 000	△18, 000, 000	
活動		施設整備等積立資産支出		18, 000, 000	△18, 000, 000	
活動に	支出	拠点区分間繰入金支出	300, 000	283, 639	16, 361	
よる		拠点区分間繰入金支出	300, 000	283, 639	16, 361	
よる収支		その他の活動支出計(8)	300,000	18, 283, 639	△17, 983, 639	
支		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△300, 000	△18, 283, 639	17, 983, 639	
	予備	前費支出(10)				
	当其	月資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	374, 678	△374, 678	
	\7. II	J. L. La L. Vez A. zelo de (, o)				
	前其	明末支払資金残高(12)	20, 716, 305	20, 302, 963	413, 342	
	当其	月末支払資金残高(11)+(12)	20, 716, 305	20, 677, 641	38, 664	

[※]本様式は、勘定科目の小区分までを記載し、必要のない勘定科目は省略することができるものとする。 ※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、小区分については適当な科目を追加できるものとする。なお、小区分を更に 区分する必要がある場合には、小区分の下に適当な科目を設けて処理することができるものとする。

本部拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第一号第四様式 (第十七条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

(単位:円)

亿	. /	八 名 ・ 性芸価性法人 マリナの園価性芸				甲型:円
		勘定科目	予 算 (A)	決 算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
		経常経費寄附金収入	10,000		10,000	
		経常経費寄附金収入	10,000		10,000	
		受取利息配当金収入	5,000	1,001	3, 999	
	収入	受取利息配当金収入	5,000	1,001	3, 999	
	/	その他の収入	30,000		30, 000	
事		雑収入	30,000		30, 000	
事業活動による収支		事業活動収入計(1)	45,000	1,001	43, 999	
活動		人件費支出	150, 000	172, 639	△22, 639	
に		役員報酬支出	150, 000	172, 639	△22, 639	
よ		事業費支出		86,000	△86, 000	
収		保険料支出		86,000	△86, 000	
支	支出	事務費支出	95, 000	31, 190	63, 810	
	ш	旅費交通費支出	10,000		10,000	
		会議費支出	55, 000	8,690	46, 310	
		雑支出	30,000	22, 500	7, 500	
		事業活動支出計(2)	245, 000	289, 829	△44, 829	
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△200, 000	△288, 828	88, 828	
施	収					
施設整備等による収支	入	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
等に	支出					
よる。	出	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
_		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その	ılπ	拠点区分間繰入金収入	200, 000	283, 639	△83, 639	
他の	収入	拠点区分間繰入金収入	200, 000	283, 639	△83, 639	
活動		その他の活動収入計(7)	200, 000	283, 639	△83, 639	
その他の活動による収支	支出					
るか	出	その他の活動支出計(8)	0	0	0	
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	200, 000	283, 639	△83, 639	
	予備					
	当其	明資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△5, 189	5, 189	
	前其	期末支払資金残高(12)	24, 761	24, 761	0	
	当 ‡	明末支払資金残高(11)+(12)	24, 761	19, 572	5, 189	

※本様式は、勘定科目の小区分までを記載し、必要のない勘定科目は省略することができるものとする。 ※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、小区分については適当な科目を追加できるものとする。なお、小区分を更に 区分する必要がある場合には、小区分の下に適当な科目を設けて処理することができるものとする。

法人単位事業活動計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第二号第一様式 (第二十三条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

12	_	八 石 ・ 社会価値伝入 マリナの園価値会			(単位:円)
		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減 (A) - (B)
		保育事業収益	115, 765, 388	121, 220, 790	△5, 455, 402
サ	収益	その他の収益	500		500
	1011.	サービス活動収益計(1)	115, 765, 888	121, 220, 790	△5, 454, 902
ビフ		人件費	77, 268, 377	91, 019, 421	△13, 751, 044
ス活動増減		事業費	9, 225, 649	10, 276, 019	△1, 050, 370
動	費	事務費	8, 466, 401	9, 781, 283	△1, 314, 882
瑁 滅		減価償却費	2, 663, 316	2, 310, 828	352, 488
の		国庫補助金等特別積立金取崩額	△194, 400	△194, 400	
部		サービス活動費用計(2)	97, 429, 343	113, 193, 151	△15, 763, 808
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	18, 336, 545	8, 027, 639	10, 308, 906
サー	ıl 	受取利息配当金収益	8, 517	5, 920	2, 597
ビフ	収益	その他のサービス活動外収益	1, 270, 769	1, 435, 012	$\triangle 164, 243$
ビス活動外増減の		サービス活動外収益計(4)	1, 279, 286	1, 440, 932	△161, 646
外曲	費	その他のサービス活動外費用	1, 111, 790	1, 291, 380	△179, 590
減	角	サービス活動外費用計(5)	1, 111, 790	1, 291, 380	△179, 590
部		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	167, 496	149, 552	17, 944
<u></u>		経常増減差額(7)=(3)+(6)	18, 504, 041	8, 177, 191	10, 326, 850
	収				
特別	益	特別収益計(8)	0	0	0
特別増減の部	費	固定資産売却損・処分損		2	$\triangle 2$
部	用	特別費用計(9)	0	2	△2
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	△2	2
当期]活	動増減差額(11)=(7)+(10)	18, 504, 041	8, 177, 189	10, 326, 852
#戊 -		別繰越活動増減差額(12)	32, 794, 249	30, 617, 060	2, 177, 189
活	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)基本金取崩額(14)その他の積立金取崩額(15)		51, 298, 290	38, 794, 249	12, 504, 041
動増			0	0	0
左.			0	0	0
額 .		つ他の積立金積立額(16)	18, 000, 000	6, 000, 000	12, 000, 000
部	<u>次</u> 其	明繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	33, 298, 290	32, 794, 249	504, 041

[※]本様式は、勘定科目の大区分のみを記載するが、必要のないものは省略することができる。ただし追加・修正はできないものとする。

社会福祉事業区分 事業活動内訳表

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第二号第三様式 (第二十三条第四項関係)

__ 法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

		勘定科目	船越保育所	本部	合計	内部取引消去	事業区分合計	
	_	保育事業収益	115, 765, 388		115, 765, 388		115, 765, 388	
サ	収益	その他の収益	500		500		500	
ĺ	1001	サービス活動収益計(1)	115, 765, 888	0	115, 765, 888	0	115, 765, 888	
ビス		人件費	77, 095, 738	172, 639	77, 268, 377		77, 268, 377	
活		事業費	9, 139, 649	86,000	9, 225, 649		9, 225, 649	
活動増減	費	事務費	8, 435, 211	31, 190	8, 466, 401		8, 466, 401	
増減	-	減価償却費	2, 663, 316		2, 663, 316		2, 663, 316	
\mathcal{O}		国庫補助金等特別積立金取崩額	△194, 400		△194, 400		△194, 400	
部		サービス活動費用計(2)	97, 139, 514	289, 829	97, 429, 343	0	97, 429, 343	
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	18, 626, 374	△289, 829	18, 336, 545	0	18, 336, 545	
サー		受取利息配当金収益	7, 516	1,001	8, 517		8, 517	
ビ	収益	その他のサービス活動外収益	1, 270, 769		1, 270, 769		1, 270, 769	
活	1001	サービス活動外収益計(4)	1, 278, 285	1,001	1, 279, 286	0	1, 279, 286	
ビス活動外増減	費用	その他のサービス活動外費用	1, 111, 790		1, 111, 790		1, 111, 790	
漝 減	用	サービス活動外費用計(5)	1, 111, 790	0	1, 111, 790	0	1, 111, 790	
の部		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	166, 495	1,001	167, 496	0	167, 496	
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	18, 792, 869	△288, 828	18, 504, 041	0	18, 504, 041	
	収	拠点区分間繰入金収益		283, 639	283, 639	△283, 639		
特別	益	特別収益計(8)	0	283, 639	283, 639	△283, 639	0	
特別増減の部	費	拠点区分間繰入金費用	283, 639		283, 639	△283, 639		
部	用	特別費用計(9)	283, 639	0	283, 639	△283, 639	0	
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△283, 639	283, 639	0	0	0	
当期	活動	h増減差額(11)=(7)+(10)	18, 509, 230	△5, 189	18, 504, 041	0	18, 504, 041	
繰	前期]繰越活動増減差額(12)	32, 769, 488	24, 761	32, 794, 249	0	32, 794, 249	
11-1	当期	末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	51, 278, 718	19, 572	51, 298, 290	0	51, 298, 290	
動増	基本	金取崩額(14)	0	0	0	0	0	
減差	その)他の積立金取崩額(15)	0	0	0	0	0	
差額の	その)他の積立金積立額(16)	18, 000, 000	0	18, 000, 000	0	18, 000, 000	
	次期組	噪越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)−(16)	33, 278, 718	19, 572	33, 298, 290	0	33, 298, 290	

[※]本様式は、勘定科目の大区分のみを記載するが、必要のないものは省略することができる。ただし追加・修正はできないものとする。

船越保育所拠点区分 事業活動計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第二号第四様式 (第二十三条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

	勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減 (A) - (B)
		保育事業収益	115, 765, 388	121, 220, 790	△5, 455, 402
		委託費収益	105, 171, 488	114, 243, 790	△9, 072, 302
		委託費基本分収益	87, 731, 490	97, 511, 530	△9, 780, 040
+}		処遇改善等加算 (基礎分)	9, 544, 028	9, 293, 088	250, 940
lĺ		処遇改善等加算 (要件分)	4, 730, 780	4, 265, 792	464, 988
ビス		処遇改善加算Ⅱ	3, 165, 190	3, 173, 380	△8, 190
活	収	利用者等利用料収益	1, 428, 000	264, 400	1, 163, 600
活動増減	収益	利用者等利用料収益(一般)	1, 428, 000	264, 400	1, 163, 600
湿		その他の事業収益	9, 165, 900	6, 712, 600	2, 453, 300
の		補助金事業収益(公費)	9, 109, 800	6, 576, 000	2, 533, 800
部		補助金事業収益(一般)	56, 100	136, 600	△80, 500
		その他の収益	500		500
		その他の収益	500		500
		サービス活動収益計(1)	115, 765, 888	121, 220, 790	△5, 454, 902

船越保育所拠点区分 事業活動計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第二号第四様式 (第二十三条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減 (A) - (B)
人件費	77, 095, 738	90, 896, 903	△13, 801, 165
職員給料	38, 469, 655	41, 947, 678	$\triangle 3, 478, 023$
職員俸給	30, 594, 252	33, 304, 367	$\triangle 2,710,115$
職員諸手当	7, 875, 403	8, 643, 311	△767, 908
職員賞与	5, 223, 142	14, 229, 577	△9, 006, 435
賞与引当金繰入	4, 167, 000	6, 590, 000	△2, 423, 000
非常勤職員給与	18, 944, 041	18, 307, 218	636, 823
退職給付費用	712,000	756, 500	△44, 500
退職給付費用	712,000	756, 500	△44, 500
法定福利費	9, 579, 900	9, 065, 930	513, 970
事業費	9, 139, 649	10, 276, 019	△1, 136, 370
給食費	4, 691, 514	5, 051, 024	△359, 510
保健衛生費	70, 513	68, 598	1, 915
保育材料費	1, 602, 241	2, 176, 850	△574, 609
水道光熱費	2, 096, 864	2, 174, 005	△77, 141
消耗器具備品費	218, 563	284, 006	△65, 443
保険料	173, 825	242, 250	△68, 425
サー 賃借料	276, 063	268, 519	7, 544
世 維費	10, 066	10, 767	△701
スー書事務費	8, 435, 211	9, 732, 283	$\triangle 1, 297, 072$
ス _費 事務費 活 用 福利厚生費 簡 職員被服費 減	1, 390, 907	1, 064, 401	326, 506
増 職員被服費	120, 927	112, 646	8, 281
旅費交通費	536, 181	623, 440	△87, 259
の一一所見る過程的に対象を表現しています。	234, 882	129, 300	105, 582
事務消耗品費	3, 357, 685	4, 349, 366	△991, 681
印刷製本費	198, 458	412, 607	△214, 149
修繕費	428, 557	561, 060	$\triangle 132, 503$
通信運搬費	211, 155	208, 463	2, 692
会議費	50, 764	59, 312	△8, 548
広報費	91, 947		91, 947
業務委託費	299, 954	278, 416	21, 538
手数料	815, 472	753, 167	62, 305
土地・建物賃借料	162, 783	230, 341	△67, 558
R守料	218, 020	583, 436	△365, 416
維費	317, 519	366, 328	∆48, 809
減価償却費	2, 663, 316	2, 310, 828	352, 488
減価償却費	2, 663, 316	2, 310, 828	352, 488
国庫補助金等特別積立金取崩額	△194, 400	△194, 400	, ==-
国庫補助金等特別積立金取崩額	△194, 400	△194, 400	
サービス活動費用計(2)	97, 139, 514	113, 021, 633	△15, 882, 119
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	18, 626, 374	8, 199, 157	10, 427, 217

船越保育所拠点区分 事業活動計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第二号第四様式 (第二十三条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

	ム 八 石 ・ 口云面世伝八 ・ リア の園面世云					
		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減 (A) - (B)	
		受取利息配当金収益	7, 516	3, 417	4, 099	
			7, 516	3, 417	4, 099	
サー		その他のサービス活動外収益	1, 270, 769	1, 435, 012	$\triangle 164, 243$	
F	収益	受入研修費収益		20,000	△20,000	
スエ	盆	 利用者等外給食収益	1, 126, 750	1, 291, 380	△164, 630	
ビス活動外		雑収益	144, 019	123, 632	20, 387	
外		サービス活動外収益計(4)	1, 278, 285	1, 438, 429	△160, 144	
増減		その他のサービス活動外費用	1, 111, 790	1, 291, 380	△179, 590	
の	費用	利用者等外給食費	1, 111, 790	1, 291, 380	△179, 590	
部	Л	サービス活動外費用計(5)	1, 111, 790	1, 291, 380	△179, 590	
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	166, 495	147, 049	19, 446	
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	18, 792, 869	8, 346, 206	10, 446, 663	
	収益					
	益	特別収益計(8)	0	0	0	
特別		固定資産売却損・処分損		2	$\triangle 2$	
増減	-##-	器具及び備品売却損・処分損		2	$\triangle 2$	
減の	費用	拠点区分間繰入金費用	283, 639	177, 518	106, 121	
部	/13	拠点区分間繰入金費用	283, 639	177, 518	106, 121	
		特別費用計(9)	283, 639	177, 520	106, 119	
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△283, 639	△177, 520	△106, 119	
当期	肝刮	動増減差額(11)=(7)+(10)	18, 509, 230	8, 168, 686	10, 340, 544	
繰	前期	別繰越活動増減差額(12)	32, 769, 488	30, 600, 802	2, 168, 686	
越活	当期	月末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	51, 278, 718	38, 769, 488	12, 509, 230	
活動	基本	本金取崩額(14)	0	0	0	
増	その他の積立金取崩額(15)		0	0	0	
減	その他の積立金積立額(16)		18, 000, 000	6, 000, 000	12, 000, 000	
差額	人件費積立金積立額			6, 000, 000	△6, 000, 000	
の	施	正設整備等積立金積立額	18, 000, 000		18, 000, 000	
部	次期	月繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	33, 278, 718	32, 769, 488	509, 230	

[※]本様式は、勘定科目の小区分までを記載し、必要のない勘定科目は省略することができるものとする。 ※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、小区分については適当な科目を追加できるものとする。なお、小区分を更に 区分する必要がある場合には、小区分の下に適当な科目を設けて処理することができるものとする。

本部拠点区分 事業活動計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第二号第四様式 (第二十三条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

(単位:円)

12	<u>م</u>	八 名 ・ 任芸価征伝入 マリナの園価征芸			(単位:円)
		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減 (A) - (B)
	収				
	益	サービス活動収益計(1)	0	0	0
サ		人件費	172, 639	122, 518	50, 121
		役員報酬	172, 639	122, 518	50, 121
ビフ		事業費	86,000		86,000
ス活動増減		保険料	86, 000		86, 000
動	費用	事務費	31, 190	49, 000	\triangle 17, 810
喧減	713	旅費交通費		10, 000	△10,000
\mathcal{O}		会議費	8, 690	16, 500	△7,810
部		維費	22, 500	22, 500	
		サービス活動費用計(2)	289, 829	171, 518	118, 311
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△289, 829	△171,518	△118, 311
サー	, (I)	受取利息配当金収益	1,001	2, 503	$\triangle 1,502$
ビフ	収益	受取利息配当金収益	1,001	2, 503	$\triangle 1,502$
/活動		サービス活動外収益計(4)	1,001	2, 503	△1, 502
外州	費				
ビス活動外増減の	角	サービス活動外費用計(5)	0	0	0
部		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1, 001	2, 503	△1, 502
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	△288, 828	△169, 015	△119, 813
	ı.[拠点区分間繰入金収益	283, 639	177, 518	106, 121
特	収益	拠点区分間繰入金収益	283, 639	177, 518	106, 121
特別増減の部	11111.	特別収益計(8)	283, 639	177, 518	106, 121
減の	費用				
部	用	特別費用計(9)	0	0	0
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	283, 639	177, 518	106, 121
当其	月 活	動増減差額(11)=(7)+(10)	△5, 189	8, 503	△13, 692
繰越活	前其	阴繰越活動増減差額(12)	24, 761	16, 258	8, 503
越活	当其	明末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	19, 572	24, 761	△5, 189
動増		本金取崩額(14)	0	0	(
減差額	その	の他の積立金取崩額(15)	0	0	C
0	_	の他の積立金積立額(16)	0	0	(
部	次其	明繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)−(16)	19, 572	24, 761	△5, 189

※本様式は、勘定科目の小区分までを記載し、必要のない勘定科目は省略することができるものとする。 ※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、小区分については適当な科目を追加できるものとする。なお、小区分を更に 区分する必要がある場合には、小区分の下に適当な科目を設けて処理することができるものとする。

法人単位貸借対照表

令和2年3月31日現在

第三号第一様式 (第二十七条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

(単位:円)

資産の部			負債の部				
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	22, 130, 428	23, 010, 801	△880, 373	流動負債	5, 600, 215	9, 273, 077	△3, 672, 862
現金預金	17, 109, 878	20, 613, 958	△3, 504, 080	事業未払金	1, 345, 768	2, 023, 800	△678, 032
事業未収金	1, 278, 550	2, 104, 100	△825, 550	預り金	500	1, 250	△750
未収金		98, 983	△98, 983	職員預り金	86, 947	658, 027	△571, 080
未収補助金	3, 728, 800	180, 800	3, 548, 000	賞与引当金	4, 167, 000	6, 590, 000	△2, 423, 000
前払金		12, 960	△12, 960				
前払費用	13, 200		13, 200				
固定資産	99, 524, 477	84, 007, 325	15, 517, 152	固定負債			
基本財産	10, 000, 000	10, 000, 000		負債の部合計	5, 600, 215	9, 273, 077	△3, 672, 862
定期預金	10, 000, 000	10, 000, 000		純	資 産	Ø :	部
その他の固定資産	89, 524, 477	74, 007, 325	15, 517, 152	基本金	10, 000, 000	10, 000, 000	
建物	7, 060, 423	7, 417, 979	△357, 556	基本金	10,000,000	10, 000, 000	
構築物	5, 507, 051	6, 160, 020	△652, 969	国庫補助金等特別積立金	356, 400	550, 800	△194, 400
機械及び装置	428, 994	526, 388	△97, 394	国庫補助金等特別積立金	356, 400	550, 800	△194, 400
器具及び備品	3, 771, 609	4, 952, 138	△1, 180, 529	その他の積立金	72, 400, 000	54, 400, 000	18, 000, 000
ソフトウェア	356, 400	550, 800	△194, 400	人件費積立金	17, 800, 000	17, 800, 000	
人件費積立資産	17, 800, 000	17, 800, 000		備品等購入積立金	10,600,000	10, 600, 000	
備品等購入積立資産	10, 600, 000	10, 600, 000		施設整備等積立金	44, 000, 000	26, 000, 000	18, 000, 000
施設整備積立資産	44, 000, 000	26, 000, 000	18, 000, 000	次期繰越活動増減差額	33, 298, 290	32, 794, 249	504, 041
				(うち当期活動増減差額)	18, 504, 041	8, 177, 189	10, 326, 852
				純資産の部合計	116, 054, 690	97, 745, 049	18, 309, 641
資産の部合計	121, 654, 905	107, 018, 126	14, 636, 779	負債及び純資産の部合計	121, 654, 905	107, 018, 126	14, 636, 779

※本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。
※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表

令和2年3月31日現在

第三号第三様式 (第二十七条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

勘定科目	船越保育所	本部	合計	内部取引消去	事業区分計	
流動資産	22, 107, 442	22, 986	22, 130, 428		22, 130, 428	
現金預金	17, 086, 892	22, 986	17, 109, 878		17, 109, 878	
事業未収金	1, 278, 550		1, 278, 550		1, 278, 550	
未収補助金	3, 728, 800		3, 728, 800		3, 728, 800	
前払費用	13, 200		13, 200		13, 200	
固定資産	89, 524, 477	10, 000, 000	99, 524, 477		99, 524, 477	
基本財産		10, 000, 000	10, 000, 000		10, 000, 000	
定期預金		10, 000, 000	10, 000, 000		10, 000, 000	
その他の固定資産	89, 524, 477		89, 524, 477		89, 524, 477	
建物	7, 060, 423		7, 060, 423		7, 060, 423	
構築物	5, 507, 051		5, 507, 051		5, 507, 051	
機械及び装置	428, 994		428, 994		428, 994	
器具及び備品	3, 771, 609		3, 771, 609		3, 771, 609	
ソフトウェア	356, 400		356, 400		356, 400	
人件費積立資産	17, 800, 000		17, 800, 000		17, 800, 000	
備品等購入積立資産	10, 600, 000		10, 600, 000		10, 600, 000	
施設整備積立資産	44, 000, 000		44, 000, 000		44, 000, 000	
資産の部合計	111, 631, 919	10, 022, 986	121, 654, 905	0	121, 654, 905	
流動負債	5, 596, 801	3, 414	5, 600, 215		5, 600, 215	
事業未払金	1, 345, 768		1, 345, 768		1, 345, 768	
預り金	500		500		500	
職員預り金	83, 533	3, 414	86, 947		86, 947	
賞与引当金	4, 167, 000		4, 167, 000		4, 167, 000	
固定負債						
負債の部合計	5, 596, 801	3, 414	5, 600, 215	0	5, 600, 215	
基本金		10, 000, 000	10, 000, 000		10, 000, 000	
基本金		10, 000, 000	10, 000, 000		10, 000, 000	
国庫補助金等特別積立金	356, 400		356, 400		356, 400	
国庫補助金等特別積立金	356, 400		356, 400		356, 400	
その他の積立金	72, 400, 000		72, 400, 000		72, 400, 000	
人件費積立金	17, 800, 000		17, 800, 000		17, 800, 000	
備品等購入積立金	10, 600, 000		10, 600, 000		10, 600, 000	
施設整備等積立金	44, 000, 000		44, 000, 000		44, 000, 000	
次期繰越活動増減差額	33, 278, 718	19, 572	33, 298, 290		33, 298, 290	
(うち当期活動増減差額)	18, 509, 230	△5, 189	18, 504, 041		18, 504, 041	
純資産の部合計	106, 035, 118	10, 019, 572	116, 054, 690	0	116, 054, 690	
負債及び純資産の部合計	111, 631, 919	10, 022, 986	121, 654, 905	0	121, 654, 905	

[※]本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。 ※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法
- ・満期保有目的の債券等-償却原価法(定額法) ・上記以外の有価証券で時価のあるもの-決算日の市場価格に基づく時価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ・建物並びに器具及び備品-定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

- (3) 引当金の計上基準・退職給付引当金・・該当なし
 - ・賞与引当金・・・従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上している。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

退職給付制度は独立行政法人福祉医療機構の実施する退職共済制度による。

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

- 当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。
 (1)法人全体の計算書類(会計基準省令第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式
 (2)事業区分別内訳表(会計基準省令第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)
 (3)社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)
 (4)各拠点区分におけるサービス区分の内容
 7 船越保育所(社会福祉事業)

- イ本部(社会福祉事業)

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基)定期預金	10, 000, 000			10, 000, 000
合 計	10, 000, 000	0	0	10, 000, 000

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

該当なし

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	7, 640, 332	579, 909	7, 060, 423
構築物	7, 593, 955	2, 086, 904	5, 507, 051
機械及び装置	583, 200	154, 206	428, 994
器具及び備品	7, 788, 140	4, 016, 531	3, 771, 609
合 計	23, 605, 627	6, 837, 550	16, 768, 077

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	1, 278, 550		1, 278, 550
未収補助金	3, 728, 800		3, 728, 800
合 計	5, 007, 350	0	5, 007, 350

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益 該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び 純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

船越保育所拠点区分 貸借対照表

令和2年3月31日現在

第三号第四様式 (第二十七条第四項関係)

__ 法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

	資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減	
流動資産	22, 107, 442	22, 986, 040	△878, 598	流動負債	5, 596, 801	9, 273, 077	△3, 676, 276	
現金預金	17, 086, 892	20, 589, 197	△3, 502, 305	事業未払金	1, 345, 768	2, 023, 800	△678, 032	
事業未収金	1, 278, 550	2, 104, 100	△825, 550	預り金	500	1, 250	△750	
未収金		98, 983	△98, 983	職員預り金	83, 533	658, 027	△574, 494	
未収補助金	3, 728, 800	180, 800	3, 548, 000	賞与引当金	4, 167, 000	6, 590, 000	△2, 423, 000	
前払金		12, 960	△12, 960					
前払費用	13, 200		13, 200					
固定資産	89, 524, 477	74, 007, 325	15, 517, 152	固定負債				
基本財産				負債の部合計	5, 596, 801	9, 273, 077	△3, 676, 276	
その他の固定資産	89, 524, 477	74, 007, 325	15, 517, 152	純	資 産	Ø :	部	
建物	7, 060, 423	7, 417, 979	△357, 556	基本金				
構築物	5, 507, 051	6, 160, 020	△652, 969	国庫補助金等特別積立金	356, 400	550, 800	△194, 400	
機械及び装置	428, 994	526, 388	△97, 394	国庫補助金等特別積立金	356, 400	550, 800	△194, 400	
器具及び備品	3, 771, 609	4, 952, 138	△1, 180, 529	その他の積立金	72, 400, 000	54, 400, 000	18, 000, 000	
ソフトウェア	356, 400	550, 800	△194, 400	人件費積立金	17, 800, 000	17, 800, 000		
人件費積立資産	17, 800, 000	17, 800, 000		備品等購入積立金	10, 600, 000	10, 600, 000		
備品等購入積立資産	10, 600, 000	10, 600, 000		施設整備等積立金	44, 000, 000	26, 000, 000	18, 000, 000	
施設整備積立資産	44, 000, 000	26, 000, 000	18, 000, 000	次期繰越活動增減差額	33, 278, 718	32, 769, 488	509, 230	
				(うち当期活動増減差額)	18, 509, 230	8, 168, 686	10, 340, 544	
				純資産の部合計	106, 035, 118	87, 720, 288	18, 314, 830	
資産の部合計	111, 631, 919	96, 993, 365	14, 638, 554	負債及び純資産の部合計	111, 631, 919	96, 993, 365	14, 638, 554	

[※]本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。 ※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等-償却原価法(定額法) ・上記以外の有価証券で時価のあるもの-決算日の市場価格に基づく時価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物並びに器具及び備品-定額法
 - ·リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

- (3) 引当金の計上基準・退職給付引当金・・・該当なし
 - ・賞与引当金・・・従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

退職給付制度は独立行政法人福祉医療機構の実施する退職共済制度による。

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) 船越保育所計算書類 (会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式) (2) 基本財産及びその他の固定資産の明細書(別紙3(⑧)

- (3)拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))当拠点区分はサービス区分が1つであるため作成していない。
- (4) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(11))

当拠点区分はサービス区分が1つであるため作成していない。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し 該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位・円)

			(十元・11)
	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	7, 640, 332	579, 909	7, 060, 423
構築物	7, 593, 955	2, 086, 904	5, 507, 051
機械及び装置	583, 200	154, 206	428, 994
器具及び備品	7, 788, 140	4, 016, 531	3, 771, 609
슴 計	23, 605, 627	6, 837, 550	16, 768, 077

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	1, 278, 550		1, 278, 550
未収補助金	3, 728, 800		3, 728, 800
合 計	5, 007, 350	0	5, 007, 350

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益 該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び 純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

本部拠点区分 貸借対照表

令和2年3月31日現在

第三号第四様式 (第二十七条第四項関係)

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

	資産	の部		負債の部					
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減		
流動資産	22, 986	24, 761	△1,775	流動負債	3, 414		3, 414		
現金預金	22, 986	24, 761	△1,775	職員預り金	3, 414		3, 414		
固定資産	10, 000, 000	10, 000, 000		固定負債					
基本財産	10, 000, 000	10, 000, 000		負債の部合計	3, 414	0	3, 414		
定期預金	10, 000, 000	10, 000, 000		純	資 産	Ø) ¹	部		
その他の固定資産				基本金	10, 000, 000	10, 000, 000			
				基本金	10, 000, 000	10, 000, 000			
				国庫補助金等特別積立金					
				その他の積立金					
				次期繰越活動增減差額	19, 572	24, 761	△5, 189		
				(うち当期活動増減差額)	△5, 189	8, 503	△13, 692		
				純資産の部合計	10, 019, 572	10, 024, 761	△5, 189		
資産の部合計	10, 022, 986	10, 024, 761	△1,775	負債及び純資産の部合計	10, 022, 986	10, 024, 761	△1,775		

[※]本様式は、勘定科目の大区分及び中区分を記載するが、必要のない中区分の勘定科目は省略することができる。 ※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、適当な科目を追加できるものとする。

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等-償却原価法(定額法) ・上記以外の有価証券で時価のあるもの-決算日の市場価格に基づく時価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物並びに器具及び備品-定額法
 - ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

該当なし

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1)本部計算書類
- (会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)
- (2) 基本財産及びその他の固定資産の明細書(別紙3(⑧))
- (3)拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩)) 当拠点区分はサービス区分が1つであるため作成していない。
- (4)拠点区分事業活動明細書(別紙3(①))
 - 当拠点区分はサービス区分が1つであるため作成していない。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	
(基)定期預金	10, 000, 000			10, 000, 000	
合 計	10, 000, 000	0	0	10, 000, 000	

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し 該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高 (貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益 該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び 純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

補助金事業等収益明細書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

(単位:円)

			14日 人 古光 フ / ス		· · 티타산미 · · · · ·	交付金	額等合計の拠点区分ごと	の内訳
交付団体及び交付の目的	分	交付金額	補助金事業に係る 利用者からの収益	交付金額等合計	うち国庫補助金等 特別積立金積立額	船越保育所		
特別支援保育事業費補助 久留米 市		4, 361, 000		4, 361, 000		4, 361, 000		
民間保育所等運営費補助 久留米市		3, 240, 000		3, 240, 000		3, 240, 000		
給食充実事業費補助 久留米市	保	682, 500		682, 500		682, 500		
地域活動事業費補助 久留米市	育事	14, 300		14, 300		14, 300		
民間保育所等運営費補助事業(寄 生虫) 久留米市	業	13, 000		13, 000		13, 000		
延長保育事業費補助 久留米市		300, 000	56, 100	356, 100		356, 100		
保育環境改善等事業費補助 久留 米市		499, 000		499, 000		499, 000		
区分小計		9, 109, 800	56, 100	9, 165, 900	0	9, 165, 900		
合 計		9, 109, 800	56, 100	9, 165, 900	0	9, 165, 900		

(注) 1. 「区分」欄には、介護保険事業の補助金事業収益の場合は「介護事業」、老人福祉事業の補助金事業収益の場合は「老人事業」、児童福祉事業の補助金事業収益の場合は「児童事業」、保育事業の補助金事業収益の場合は「保育事業」、障害福祉サービス等事業の補助金事業収益の場合は「障害事業」、生活保護事業の補助金事業収益の場合は「生活保護事業」、医療事業の補助金事業収益の場合は「医療事業」、○○事業の補助金事業収益の場合は「○○事業」、借入金利息補助金収益の場合は「利息」、施設整備等補助金収益の場合は「施設」、設備資金借入金元金償還補助金収益の場合は「償還」と補助金の種類がわかるように記入すること。なお、運用上の留意事項(課長通知)別添3「勘定科目説明」において「利用者からの収益も含む」と記載されている場合のみ、「補助金事業に係る利用者からの収益」欄を

記入するものとする。 2. 「交付金額等合計」の「区分小計」欄は事業活動計算書の勘定科目の金額と整合するものとする。 また、「交付金額等合計の拠点区分ごとの内訳」の「区分小計」欄は、拠点区分事業活動計算書の勘定科目の金額と一致するものとする。

別紙3(4)

事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

1) 事業区分間繰入金明細書

事業区分	· 名	48.3 人の財源(注)	A 4/5	
繰 入 元	繰 入 先	繰入金の財源 (注)	金額	使用目的等

⁽注)繰入金の財源には、介護保険収入、運用収入、前期末支払資金残高等の別を記入すること。

事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

法	人	名	: 社会福祉法人	マリアの園福祉会	
---	---	---	----------	----------	--

2) 拠点区分間繰入金明細書

拠 点 🛭	区 分 名	AH T A SHINE (NO	A 400	// E = // #6
繰 入 元	繰 入 先	繰入金の財源(注)	金額	使用目的等
船越保育所	本部	前期末支払資金残高	11, 138	本部拠点区分へ繰入 理事会費用
船越保育所	本部	前期末支払資金残高	44, 552	本部拠点区分へ繰入 理事会費用
船越保育所	本部	前期末支払資金残高	44, 552	本部拠点区分へ繰入 理事会費用
船越保育所	本部	その他	25,000	本部拠点区分へ繰入 運動会お祝い金
船越保育所	本部	前期末支払資金残高	44, 552	本部拠点区分へ繰入 理事会費用
船越保育所	本部	前期末支払資金残高	△5, 569	本部会計より理事会費用返金
船越保育所	本部	前期末支払資金残高	86,000	役員賠償責任保険
船越保育所	本部	前期末支払資金残高	44, 552	本部拠点区分へ繰入 理事会費用
船越保育所	本部	前期末支払資金残高	△11, 138	本部会計より理事会費用返金

⁽注)繰入金の財源には、介護保険収入、運用収入、前期末支払資金残高等の別を記入すること。

基本金明細書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

		,			(単位:円)
	マ公並がに組まれる。		各 拉	処点区分ごとの P	り 訳
	区分並びに組入れ及び 取崩しの事由	合 計	船越保育所	本部	
前年	度末残高	10, 000, 000	0	10, 000, 000	
	第一号基本金	10, 000, 000	0	10, 000, 000	
	第二号基本金	0	0	0	
	第三号基本金	0	0	0	
	当期組入額				
第一					
号	計	0	0	0	
第一号基本金	当期取崩額				
	計	0	0	0	
	当期組入額				
第二					
号	計	0	0	0	
第二号基本金	当期取崩額				
	計	0	0	0	
第二	当期組入額				
号	計	0	0	0	
第三号基本金	当期取崩額				
	計	0	0	0	
当期	用末残高	10, 000, 000	0	10, 000, 000	
	第一号基本金	10, 000, 000	0	10, 000, 000	
	第二号基本金	0	0	0	
	第三号基本金	0	0	0	

⁽注) 1. 「区分並びに組入れ及び取崩しの事由」の欄に該当する事項がない場合には、記載を省略する。
2. ①第一号基本金とは、本文11 (1) に規定する基本金を言う。
②第二号基本金とは、本文11 (2) に規定する基本金を言う。
③第三号基本金とは、本文11 (3) に規定する基本金を言う。
3. 従前からの特例により第一号基本金・第二号基本金の内訳を示していない
法人では、合計額のみを記載するものとする。

国庫補助金等特別積立金明細書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

	ロハサバル種キャ	補	助金の種	類		各 担	処点区分ごとの内	1 訳
	区分並びに積立て 及び取崩しの事由 国庫補助金		地方公共団体 補 助 金	その他の団体 からの補助金	合 計	船越保育所		
	前期繰越額				550, 800	550, 800		
当期								
当期積立額								
額								
	当期積立額合計	0	0	0	0	0		
	サービス活動費用の控除項目 として計上する取崩額				194, 400	194, 400		
当期取崩額	特別費用の控除項目として計 上する取崩額							
崩額					_			
	当期取崩額合計				194, 400	194, 400		
	当 期 末 残 高				356, 400	356, 400		

- (注) 1. サービス活動費用の控除項目として計上する取崩額には、国庫補助金等特別積立金の対象となった固定資産の減価償却相当額等の取崩額を記入し、特別費用の控除項目として計上する取崩額には、国庫補助金等特別積立金の対象となった固定資産が売却または廃棄された場合の取崩額を記入する。(本文9 参照)。2. 国庫補助金等特別積立金取崩額が、就労支援事業の控除項目に含まれ、法人単位事業活動計算書に表示されない額がある場合には、取崩の事由に別掲して計上し、法人単位貸借対照表と一致するように作成すること。

別紙3(⑧)

基本財産及びその他の固定資産(有形・無形固定資産)の明細書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

拠点区分名 : 船越保育所

	期首帳簿価額	(A)	当期増加額(I	3)	当期減価償却	額(C)	当期減少額(I	D)	期末帳簿価額	i (E=A+B-C-D)	減価償却累計	額(F)	期末取得原価	(G=E+F)		
資産の種類及び名称		うち国庫補 助金等の額		うち国庫補 助金等の額		うち国庫補 助金等の額		うち国庫補 助金等の額		うち国庫補 助金等の額		うち国庫補 助金等の額		うち国庫補 助金等の額	摘	要
その他の固定資産(有形固定資産)																
建物	7, 417, 979	0	0	0	357, 556	0	0	0	7, 060, 423	0	579, 909	0	7, 640, 332	0		
構築物	6, 160, 020	0	0	0	652, 969	0	0	0	5, 507, 051	0	2, 086, 904	0	7, 593, 955	0		
機械及び装置	526, 388	0	0	0	97, 394	0	0	0	428, 994	0	154, 206	0	583, 200	0		
器具及び備品	4, 952, 138	0	180, 468	0	1, 360, 997	0	0	0	3, 771, 609	0	4, 016, 531	0	7, 788, 140	0		
その他の固定資産(有形固定資産)計	19, 056, 525	0	180, 468	0	2, 468, 916	0	0	0	16, 768, 077	0	6, 837, 550	0	23, 605, 627	0		
その他の固定資産 (無形固定資産)																
ソフトウェア	550, 800	550, 800	0	0	194, 400	194, 400	0	0	356, 400	356, 400	615, 600	615, 600	972, 000	972, 000		
その他の固定資産(無形固定資産)計	550, 800	550, 800	0	0	194, 400	194, 400	0	0	356, 400	356, 400	615, 600	615, 600	972, 000	972, 000		
その他の固定資産 計	19, 607, 325	550, 800	180 , 4 68	0	2, 663, 316	194, 400	0	0	17, 124, 477	356, 400	7, 453, 150	615, 600	24, 577, 627	972, 000		
基本財産及びその他の固定資産 計	19, 607, 325	550, 800	180, 468	0	2, 663, 316	194, 400	0	0	17, 124, 477	356, 400	7, 453, 150	615, 600	24, 577, 627	972, 000		
将来入金予定の償還補助金の額		0		0	·			0		0					•	
差 引	19, 607, 325	550, 800	180, 468	0	2, 663, 316	194, 400	0	0	17, 124, 477	356, 400						

⁽注) 1. 「うち国庫補助金等の額」については、設備資金元金償還補助金がある場合には、償還補助総額を記載した上で、国庫補助金取崩計算を行うものとする。 ただし、「将来入金予定の償還補助金の額」欄では、「期首帳簿価額」の「うち国庫補助金等の額」はマイナス表示し、実際に補助金を受けた場合に「当期増加額」の「うち国庫補助金等の額」を プラス表示することにより、「差引」欄の「期末帳簿価額」の「うち国庫補助金等の額」が貸借対照表上の国庫補助金等特別積立金残高と一致することが確認できる。

^{2. 「}当期増加額」には減価償却控除前の増加額、「当期減少額」には当期減価償却額を控除した減少額を記載する。

引当金明細書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

拠点区分名 : 船越保育所 (単位:円)

£I.	4) D		// #81# pu#2	当期	減少額	地士珍古	ф ж
科目		期首残高	当期増加額	目的使用	その他	期末残高	摘要
徴収不能引当金			()		()		
賞与引当金		6, 590, 000	4, 167, 000 ()	6, 590, 000	()	4, 167, 000	
退職給付引当金			()		()		
計		6, 590, 000	4, 167, 000 (0)	6, 590, 000	(0)	4, 167, 000	

- (注) 1. 引当金明細書には、引当金の種類ごとに、期首残高、当期増加額、当期減少額及び期末残高の明細を記載する。 2. 目的使用以外の要因による減少額については、その内容及び金額を注記する。 3. 都道府県共済会または法人独自の退職給付制度において、職員の転職または拠点間の異動により、 退職給付の支払を伴わない退職給付引当金の増加または減少が発生した場合は、当期増加額又は 当期減少額(その他)の欄に括弧書きでその金額を内数として記載するものとする。

別紙3(⑫)

積立金・積立資産明細書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

拠点区分名 : 船越保育所

(単位:円)

区 分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
人件費積立金	17, 800, 000			17, 800, 000	
修繕積立金					
備品等購入積立金	10, 600, 000			10, 600, 000	
施設整備等積立金	26, 000, 000	18, 000, 000		44, 000, 000	
計	54, 400, 000	18, 000, 000	0	72, 400, 000	

区 分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
人件費積立資産	17, 800, 000			17, 800, 000	
修繕積立資産					
備品等購入積立資産	10, 600, 000			10, 600, 000	
施設整備積立資産	26, 000, 000	18, 000, 000		44, 000, 000	
計	54, 400, 000	18, 000, 000	0	72, 400, 000	

⁽注) 1. 積立金を計上せずに積立資産を積み立てる場合には、摘要欄にその理由を明記すること。2. 退職給付引当金に対応して退職給付引当資産を積み立てる場合及び長期預り金に対応して長期預り金積立資産を積み立てる場合には摘要欄にその旨を明記すること。

財 産 目 録

令和2年3月31日 現在

法 人 名 : 社会福祉法人 マリアの園福祉会

						(単位:円)
貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部	1	•	•		•	
1 流動資産						
現金預金						
現金	小口現金	_		_	_	103, 564
普通預金(福中銀1088089)	福岡中央銀行					15, 043, 202
普通預金(福銀847389)	i e					
	福岡銀行	_		_	_	1, 914, 037
定期預金	定期預金利息	-		_	_	48, 530
普通預金(本部)	福岡銀行	_		-	_	545
		1		<u> </u>	I	17, 109, 878
事業未収金	令和元年度久留米市委託 費他	-		_	_	1, 278, 550
未収補助金	令和元年度久留米市補助 金	-		-	-	3, 728, 800
前払費用	4月分綜合警備保障	_		_	_	13, 200
流動資産合計						22, 130, 428
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金	基本財産特定預金	-		_		10, 000, 000
		基本り	財 産 合 計			10, 000, 000
(2) その他の固定資産						
建物						
	遊戲室非常口設置工事	2015年度	第二種社会福祉事業である、保 育所施設等に使用している	250, 283	52, 765	197, 518
	船越保育所	2017年度	第二種社会福祉事業である、保 育所施設等に使用している	469, 280	76, 139	393, 141
	船越保育所	2018年度	第二種社会福祉事業である、保育所施設等に使用している	6, 920, 769	451, 005	6, 469, 764
				\ \計		7, 060, 423
構築物	園舎まわりゴムチップ舗 装他	-		7, 593, 955	2, 086, 904	5, 507, 051
機械及び装置	井戸水滅菌ポンプ	_		583, 200	154, 206	428, 994
器具及び備品	メッシュテント他	_		7, 788, 140	4, 016, 531	3, 771, 609
ソフトウェア	ICT園支援システム			972, 000	615, 600	356, 400
	101園又仮シヘテム	_		972,000	015,000	
人件費積立資産 備品等購入積立資産		_		_	_	17, 800, 000
		-		_	_	10, 600, 000
施設整備積立資産			The state of the s	_	_	44, 000, 000
その他の固定資産合計						89, 524, 477
						99, 524, 477
TT /2 /			産 合 計			121, 654, 905
Ⅱ 負債の部1 流動負債						
事業未払金	2日八社会伊险地 2日八	1		1		1 945 700
	3月分社会保険料、3月分 給食費他	_	_	_	_	1, 345, 768
預り金						
その他	スポーツ保険料預り金	-	_	-	_	500
		1		<u> </u>	1	500
職員預り金						
健康保険預り金	社会保険料	-	-	-	_	10, 239
厚生年金預り金	社会保険料	-	-	-	_	18, 294
所得税預り金(職員)		-	_	-	_	3, 414
その他 (職員)	3月分退職積立金他	_	_			55, 000
				· 卜計		86, 947
賞与引当金	船越保育所	-	-	-	_	4, 167, 000
		流動:	負債合計			5, 600, 215
固定負債合計						0,000,210
負債合計						5, 600, 215
差引維資産						116, 054, 690
左 71 吨 貝 庄						110, 004, 090